

# Local Area News

## EVの充電スタンドを設置

伊香保温温泉旅館(協)

伊香保温温泉旅館協同組合(福田朋英理事長、組合員52人)では、組合会館前の駐車スペースに電気自動車(EV)の有料充電スタンドを設置した。

同スタンドはEVの利用者が安心して同温泉を利用できるようにと、伊香保地区で初めて導入。出力200Vの普通充電器で、携帯電話などの端末を使って、充電状況の確認や予約もできる。

福田理事長は「当温泉地は、先進環境温泉地を目指している。そ



EVと充電器

こで、EVでお越しになるお客様への対応として、充電量が少ないとなった際の緊急時に利用して頂くために設置した。EVは発進も静かで、坂道の多い伊香保でも乗り心地は快適。充電中にEVの代車を提供して、観光客の周辺散策に役立てるなど、2次交通への応用も検討していきたい」と話した。

## 新組合会館・スタンド新設

伊勢崎流通センター事業(協)

伊勢崎流通センター事業協同組合(多賀谷剛理事長、組合員18人)では、組合会館とスタンドを、従



広いスタンドと組合会館(奥)

来の場所から西へ約200mの場所に新設し、10月23日より業務を開始した。以前のスタンドが30年を経過し老朽化したことと、東日本大震災の教訓を活かし、緊急時におけるガソリン不足の際でも、安定供給可能な能力を保有することが目的。

敷地は、大型タンクローリーや特殊車輛の出入りもスムーズとなるよう従来の約2倍の広さとなり、地下に設置した新しい燃料タンクは最大500kℓ備蓄可能で、今回の震災で安全性が証明された強化プラスチック製。また、停電時でも給油可能な発電システムも構築した。

計量器は軽油3基、ガソリン1基、灯油1基に加え、今回新たに、アドブルー(NOx還元添加剤尿素水溶液)の計量器を1基設置した。アドブルーはトラック等の大型車から排出されるNOxを浄化し、今後大型車には欠かせないものとなるため、数年後の本格需要を見据えて設置している。

厳しい情勢の中、負担も大きいですが、緊急時でもお客様との契約を履行することが、ひいては、日本経済の一翼を担う物流の使命であるという意識のもと、組合員の総意で作成された施設となっている。

また、機能面の強化に加えて、組合事務所の壁の色や外観、エントランスなどは細部へのこだわりとともに調和のとれたデザインが施され、組合の顔としての共同施設の存在感と品位をより高めている様子が感じられる。



アドブルーの計量器

# LAW



多くの和装姿で華やかな会場

桐生織物協同組合（後藤隆造理

桐生織物（協）

## 桐生きもの日・ ワインパーティー開催

理事長、組合員123人）では、11月3日、桐生市市民文化会館スカイホールにおいて「きもの日・ワインパーティー」を開催した。着物を着る機会を提供することを目的に、今回で36回を迎える恒例のイベントで、組合が制定した「きもの日」の11月3日に毎年開催されている。当日は、亀山桐生市長や織物関係者、着物愛好者など和装で着飾った男女約200人が参加し、美味しいワインと食事が振舞われた。また、余興として吉本興業住みますプロジェクトで選ばれて群馬県で活躍するアンカンミンカンコンビによるライブのほか、着物



豪華なビンゴの景品が並び



賑わう会場正面入り口

## 上州どっと楽市開催

高崎卸商社街（協）

や帯等が当たるビンゴ大会が行われ会場は大いに賑わった。

高崎卸商社街協同組合（松本修平理事長、組合員116人）では、10月27、28日、高崎問屋街センター展示会館並びに問屋町公園で「上州どっと楽市」を開催した。今回で15回目を迎え、約80店が出店、問屋ならではのお買い得価



ぐんまちゃんは大人気

格で繊維・食品・雑貨類などを販売。初日の開会時には、正面入口やティッシュの販売会場には、開会を待ちわびるお客様の長い行列がみられた。また、問屋町公園では、警察コーナーやミニSSL無料試乗会、フラダンスショー、チャリディングショーなどの様々なイベントが催され来場者を楽しませていた。2日目は生憎の雨に見舞われたものの2日間で約2万5000人の来場者を迎え、イベントは大いに賑わった。

# Local Area News

## 手順・点検を徹底し

### 安全性の充実に

#### 群馬県自動車電装品整備(商工)

群馬県自動車電装品整備商工組合(川口正幸理事長、組合員34人)では、10月21日、高崎自動車整備学校において、「低圧電気取扱いについて」をテーマに講習会を行った。講師は、(株)デンソーセールス埼玉支店サービス室サービス技術課長今村都佳氏。

今村氏は、「通常の自動車は12Vのバッテリーのみであるが、HVやEVは最大600Vのバッテリーを搭載しており、手順や扱いを誤れば、死亡事故になる」と説



実際の電気自動車を用いた実技講習

明。

そして、「事故を防ぐためには、適切な作業手順を確認し、作業前に道具の異常はないか細心の注意を払い点検することが重要である。感電の原因や防止方法、感電した際の救助方法を、よく学び覚えてほしい」とし、「今日の内容だけでは、まだ不十分であり、自己研鑽を積むことで、整備技術を高めてほしい。組合やデンソーはこれからも様々な情報提供を行い、安全や技術がより一層充実するように図っていききたい」と結んだ。

その後、実車を使用して絶縁用保護具の装着から手動電源遮断機

の着脱、車内ディスプレイの異常時の表示確認などの体験を行った。

## 刺繍展開催

### 桐生刺繍商工業(協)

桐生刺繍商工業協同組合(岩崎朝嗣理事長、組合員47人)では、11月3、4日の両日、桐生市・有鄰館において、桐生ファッションウィークの一環として、恒例となった刺繍展を開催した。

会場では、組合が擁する2人の現代の名工の作品やキノピーを刺繍であしらったポロシャツ、豪華絢爛な打掛け等、色鮮やかな製品が来場者の注目を集めていた。また、刺繍の原画コンテストも



展示品



刺繍入りのジージャンを受け取った受賞者

行われ、県内外から72点の応募作品が寄せられた。表彰式では、岩崎理事長から入賞者7人に、刺繍文字で記された賞状と、組合員が実際に原画を刺繍で縫い込んだジージャンが手渡された。

このほか、コンピュータ刺繍の実演や、東日本大震災の被災地支援の一環としてキノピーのハンカチ等の販売も行われ、両日とも大勢の来場者で賑わいを見せていた。

岩崎理事長は、「キノピーのポロシャツは好評を得て、多額の義援金を被災地に送ることができた。桐生の刺繍は群馬を代表する産業

の1つでもあるので、今後は「く



# LAW

「まんまちゃん」をモチーフにした製品開発にも積極的に取り組んでいきたい」と語っていた。

## 今後の林業に向けた

### 労務管理の課題を確認

群馬県素材生産流通(協)

群馬県素材生産流通協同組合(橋爪洋介理事長、組合員114人)では、11月8日、藤岡市・組合事務所において、研修会を開催。テーマは「これからの林業における雇用管理の課題と対応策」で、社会保険労務士の中嶋栄氏が講義を行った。

中嶋氏はまず、県内の林業従事者について、30年前と比較して、60歳以上の高齢者数がほとんど



真剣な研修会

変わらないのに対して、59歳以下の従事者数が約1000人も減少している現状を説明。

そして、「基本的な事故防止対策が不可避の課題。具体的には、日振動ばく露量を正確に把握した上での作業計画の策定、日照時間を考慮した熱中症対策、スズメバチ対策などについて、従業員に周知徹底、確認をすることが大事である。また、以前は徒弟制度の中で、安全作業技術が伝承されていたが、最近ではこのようなケースは稀であり、けがの態様も変わってきて

いる。若手従業員の確保定着を図るためにも、教育訓練が必要」と説明した。

このほか、最近の労働法制の動きや就業規則の整備の重要性、障がい者虐待防止法なども解説した。

## 顧客課題に対応する

### ソリューション営業を学ぶ

群馬県印刷(工)

群馬県印刷工業組合(吉田吉太郎理事長、組合員55人)では、11月12日、高崎市・ピエント高崎において、講習会を開催した。当日は、「顧客課題の見つけ方」をテーマに(株)バリューアシストジャパン伊藤直行氏が講義を行った。

伊藤氏はまず、「印刷業界は市場が縮小傾向にあり、これからは営業で差別化を図る必要がある」とした上で、「そのためには、顧客の



伊藤直行氏

直行先生



ソリューション営業について学ぶ

ビジネスプロセスに参画し、課題・ニーズに対して自社の総合力で創造的な対応策を提供するソリューション営業を極めることが重要となる。ソリューション営業では、顧客のビジネスモデル全体をとらえることが出発点となる。それには、自社・顧客・自社の競合に加え、顧客の顧客、顧客の競合まで含めて考えることが必要である」と語った。

さらに、顧客のニーズをつかむために、インターネットの活用、仮説を立てた上での思考、ビジネスプロセス毎の分析などの具体的な手法に関する解説を行った。